防水工法の技術提案

次世代防水の提案



"防水"といえば・・・

アスファルト防水保護工法

歴史+実績=No.1

アスファルト防水保護工法

■現場での検討事項(悩ましい点)

工期 火気・臭気 納まり





防水工法の選定で改善を!!!

超速硬化ウレタンはどうか?

超速硬化ウレタンの概要

- 指触硬化3分のウレタンゴム系塗膜防水材。
- 専用システムによる機械施工。
- ■1985年に改修工法として導入、2004年新築への用途展開。

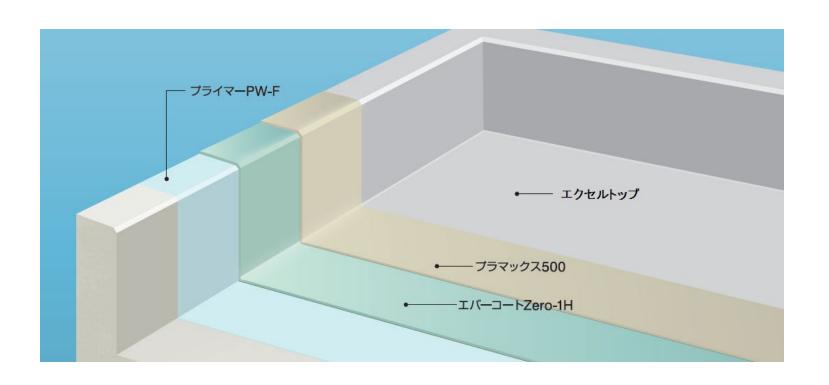


<吹付け施工の模様>



<専用システム搭載車両>

一般名称:超速硬化ウレタン複合防水工法名:クイックスプレーUPM-10



超速硬化ウレタンの特徴

1. 保護層不要で歩行可能

2. 火気、発煙作業なし

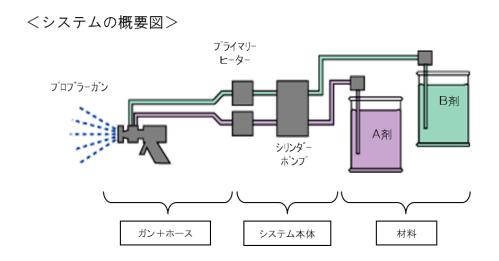
3. 端部仕舞不要・シンプルな納まり

保護層不要で歩行可能

材料の温度、吐出量、混合システムにて管理することで、強度の高い防水層を提供することが可能。 露出防水でありながら歩行用途(建物管理者 および建物使用者の歩行)に適用できます。



<材料とシステム本体>



保護層不要で歩行可能

・端末押え金物、絶縁シート、 メッシュ筋、伸縮目地設置が不要

・保護コンクリートの打設工程、 およびコンクリート養生期間不要

工程について



工程①プライマー塗り



工程②高伸長ウレタン塗布





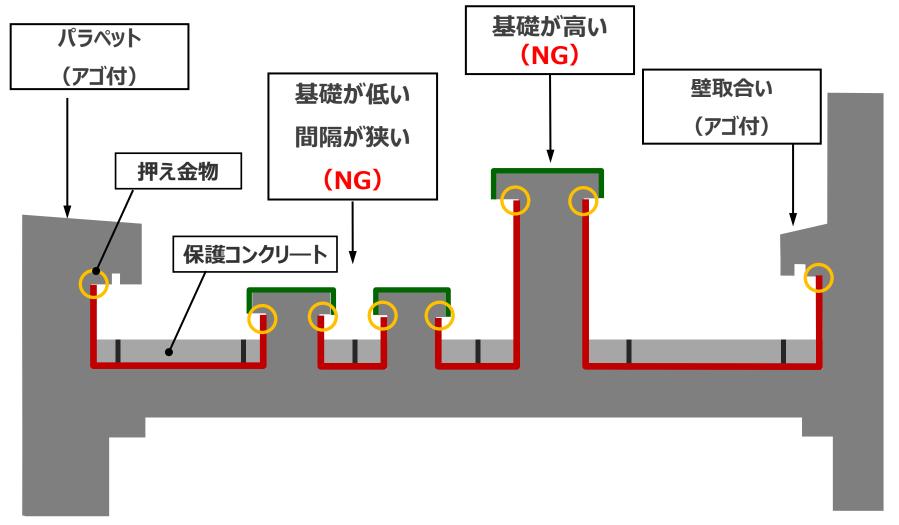
工程③超速硬化ウレタン防水吹付け

工程④トップコート塗布

溶剤臭は発生しますが、火気、発煙作業はありません

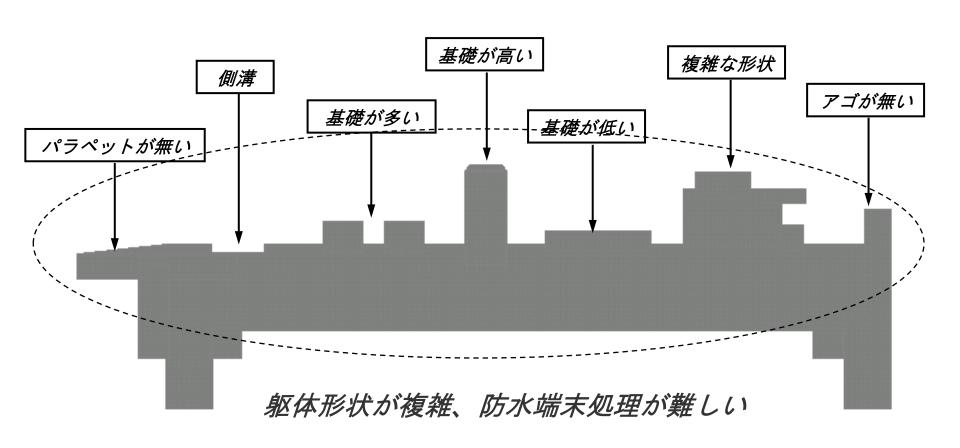
納まりについて

保護アスファルト防水



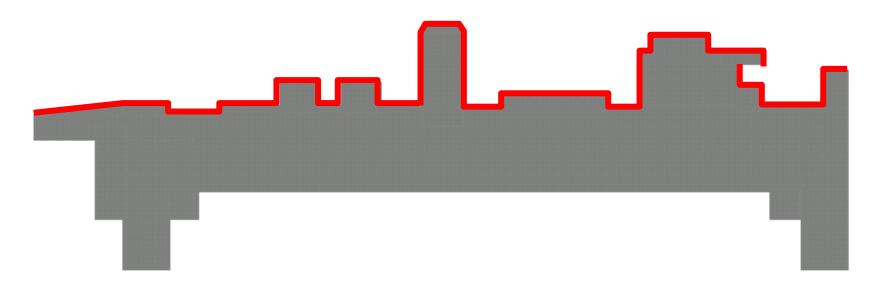
※アスファルト防水(張り施工)は条件が多い

超速硬化ウレタン防水の納まり



超速硬化ウレタン防水の納まり

超速硬化ウレタン防水工法は、躯体形状が複雑 な場合であっても、高強度で連続かつシームレスな 防水層を形成できます。





継ぎ目のないシームレスな防水層を屋根面に形成



基礎架台もアゴ不要でシンプルな躯体形状



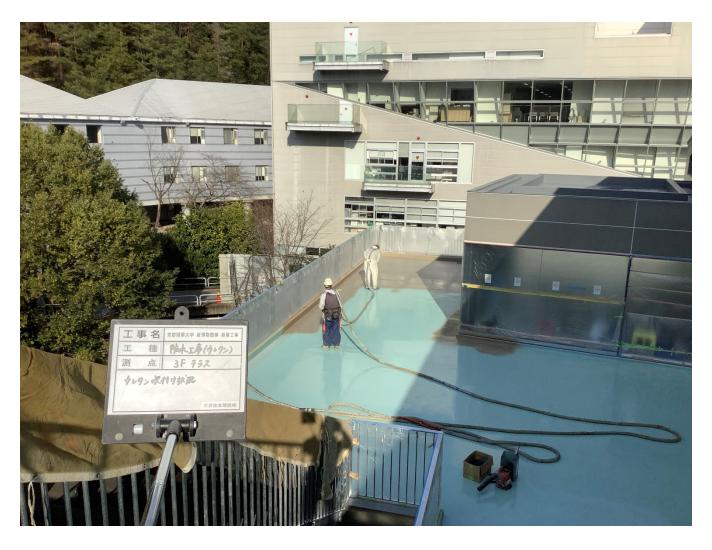
金属廻りの防水納まりも容易

実例紹介

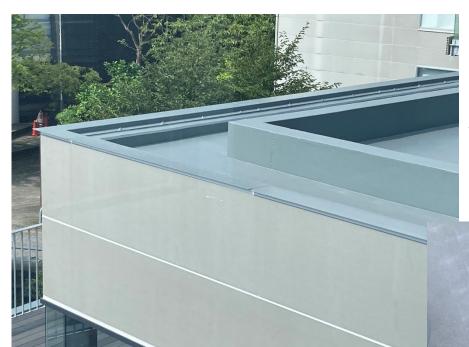
公共性の高い施設の増築工事で、一般の利用者が利用している状況での防水施工となる中、当工法を採用することにより、悪臭の防止・火災リスク(火気使用)をなしとすることができ、複雑なデザイン納まりにも対応することが出来た。



防水施工状況(プライマー・エバーコート)



防水施工状況(超速硬化ウレタン吹付)



外壁・パラペット立上り

側溝・手摺立上り

複雑な立上りなども同一施工でシームレスに